

総務省・統計情報研究開発センター主催

第68回 全国統計大会

第66回「統計グラフ全国コンクール」表彰式

埼玉大学教育学部附属中学校3年

竹内花奈さんの「高校合格は寝てつかみとれ」

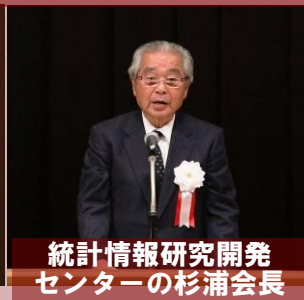
日本統計学会会長賞



会場を埋め尽くす全国からの参加者、アチコチから方言が聞こえる賑やかな大会でした



主催者側挨拶を行う
鈴木総務省副大臣



統計情報研究開発
センターの杉浦会長



都道府県統計連絡協議会会長
東京都総務局統計部
熊谷部長による祝辞



受賞者代表による
謝辞



各表彰状を授与する側の皆さん



受賞者側の皆さん

平成30年11月19日(月)午後1時半から午後4時まで、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟で、総務省と統計情報研究開発センター主催《第68回全国統計大会》が開催されました。

《第68回全国統計大会》の各省大臣表彰はじめ《第66回統計グラフ全国コンクール》の入賞作品表彰があり《日本統計学会会長賞》や《日本品質管理学会賞》の表彰、《大内賞》等の表彰が行われました。

主催者挨拶の後、総務大臣賞他、各省大臣表彰、続いて《第66回統計グラフ全国コンクール》の表彰が行われました。

《日本品質管理学会賞》は川越市立霞ヶ関小学校6年の高橋慧さんが受賞、棟近雅彦会長から表彰状が授与されました。

休憩後には「統計・データサイエンス活用セミナー」、受賞者のプレゼンテーションがあり、午後4時、終了しました。

《第68回全国統計大会》の様相



北海道から九州・沖縄まで、全国の統計関係者が参加しての第68回全国統計大会の会場
会場内のあちこちで方言が飛び交い、各地から遠路お運び頂いていることが分かります



主催者でもある総務省の鈴木副大臣、統計情報研究開発センターの杉浦会長の開会挨拶、来賓の都道府県統計連絡協議会の東京都総務局の熊谷統計部長の祝辞が終了後、早速、全国から集まった受賞者への表彰式が始まりました。

主催者の総務大臣賞の表彰に続き、厚生労働大臣表彰、農林水産大臣表彰、経済産業大臣表彰、国土交通大臣表彰の順に、各省庁が求める統計データを収集するために全国各地で活動している調査員等の表彰が行われました。

《第68回全国統計大会》各省大臣表彰



800名余りを収容する大ホールはほぼ満席



各省大臣表彰が次々に行われました



開会挨拶、来賓挨拶が終わると早速各省大臣表彰が行われました。

最初の総務大臣表彰は労働力調査関係156名、小売物価統計調査47名、家計調査46名、個人企業経済調査16名、就業構造基本調査105名、各種統計調査104名等調査員が表彰されました。

続いて厚生労働大臣表彰は厚生統計が39名、労働統計が65名の他、8県4市、調査対象429事業所等が表彰されました。

農林水産大臣表彰は永年協力者921名、特別協力者100名が表彰されました。

経済産業大臣表彰は構造統計956名、動態統計37名が表彰されました。

国土交通大臣表彰は建設統計89事業所、統計調査員4名、地方公共団体職員5名が表彰されました。

第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」



続いて行われた《第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」》は神奈川県横須賀市「横須賀市のEBPM*推進に寄与する経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用」が総務大臣賞を受賞しました。

また福岡県福岡市「福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム」が統計局長賞を受賞しました。



その他、新潟県新潟市「公的統計とGISを用いた人口減少を前提とする都市経営」、岐阜県「小学4・5・6年生のための統計学習副読本」、宮崎県「ひなたGISによる統計データの可視化とデータ活用の推進」が特別賞を受賞しました。

EBPM (Evidence Based Policy Making)

《統計データ分析コンペティション入賞者表彰》



総務大臣賞を授与される大段さん



日本統計協会賞を授与される白石さん

「統計データ分析コンペティション入賞者表彰」は高校生の部、大学生一般の部に分かれています。

総務大臣賞の高校生の部は広島大学附属高等学校の大段利々子さん、大学生一般の部は早稲田大学人間科学部の平原幸輝さんが受賞しました。

優秀賞には和歌山県立田辺工業高等学校の宮本雨月さん、金山瑠依さん、門脇俊樹さんと早稲田大学大学院の小野島昂洋さんが受賞しました。

日本統計協会賞には愛媛県立松山南高等学校の白石大悟さん、高田蒼大さん、武田裕喜さん、慶応大学の池田泰成さん、柴辻優樹さん、鶏内朋也さん、石川貴啓さん、佐野岳史さんが受賞しました。

また特別賞には渋谷教育学園幕張高等学校の伊藤寛子さん、国際基督教大学、名古屋工業大学、名古屋大学他の連携チームの小野恵子さん、宮内はじめさん、白松俊さん、河口信夫さん、五十嵐康伸さんが受賞しました。

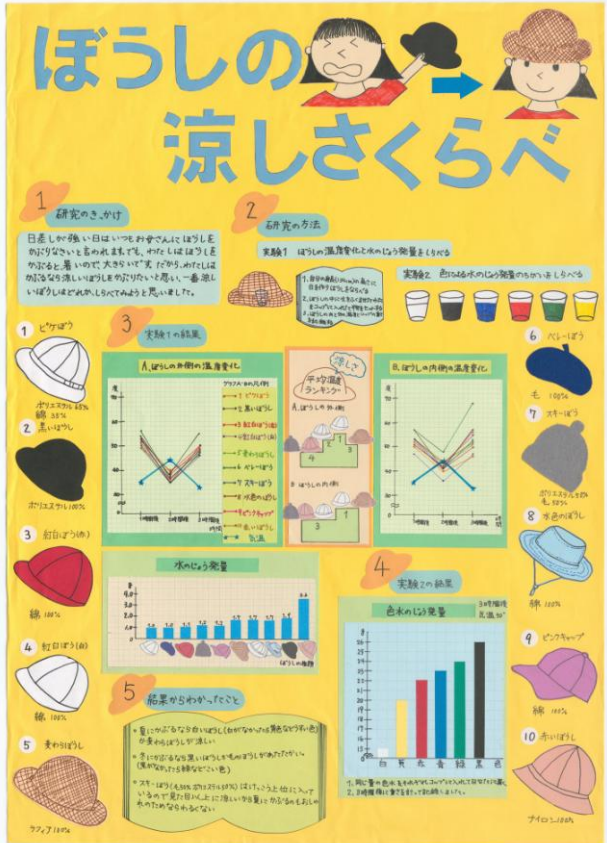
《第66回統計グラフ全国コンクール》表彰風景



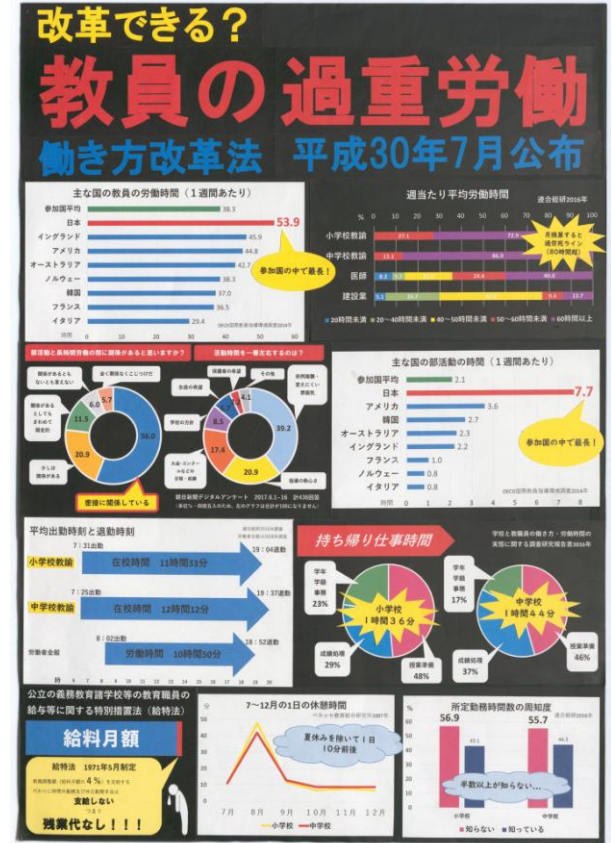
《金丸三郎賞》を授与される秋山さん



《石橋信夫賞》を授与される中西さん



《金丸三郎賞》受賞の東京都聖ドミニコ学園小学校4年の秋山詞美さんの作品



《石橋信夫賞》受賞の岐阜県大垣市立西中学校2年の中西未来さんの作品



会場エントランスホールに展示された第66回統計グラフコンクール各省受賞並びに優秀作品

《平成30年度「統計の日」標語》表彰風景



総務省では統計に関する関心と理解を深め、統計調査に対する皆さんの一層の協力を得るために定めた10月8日の「統計の日」を衆知させるためのポスターを制作しています。

そのための標語を募集していますが、平成年30年度の標語は群馬県藤岡市の統計調査員・鹿沼十三二さんの「活かせ統計、未来の指針」が決まり、ポスターなどに使われています。

平成30年度《大内賞》表彰風景・・・代表者による謝辞



長年にわたり統計実務に従事し、統計の進歩に貢献した方々に授与されるのが大内賞です。

戦後日本の統計の整備、発展に努め、我が国の「統計の父」と言われる大内兵衛博士を記念して設けられたものです。

今年度は福島県の統計調査員・赤澤ヨシ子さん、埼玉県の元経済産業省大臣官房統括経済産業調査官・今井洋夫さん、新潟県の統計調査員・高橋智さん、熊本県の統計調査員・宮本昭子さんの4人に授与されました。



授与者・受賞者が全員起立し、受賞者を代表して今井さんが謝辞



表彰式の最後に、受賞者を代表して今井さんが謝辞を述べました。

《統計・データサイエンス活用セミナー》



第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」受賞の事例を発表頂きました



司会は慶應義塾大学大学院の渡辺教授



休憩後には《統計・データサイエンス活用セミナー》が開催されました。

最初は《第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」》で総務大臣賞を受賞した神奈川県横須賀市「横須賀市のEBPM推進に寄与する経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用」のテーマでご発表頂きました。

続いて同統計局長賞を受賞した福岡県福岡市の「地域包括ケアの実現に向けたヘルスケア・ビッグデータによるEBPMの推進」では、福岡市地域の包括ケア情報プラットフォームについての受賞内容をご紹介頂きました。

《第68回全国統計大会》の記念撮影



表彰式前に行われた記念撮影ですが、皆さん余裕の表情でした。



表彰状を授与する各省並びに学界、協会関係者



表彰式前、壇上で緊張の受賞者の皆さん